

令和5年度 第1回坂出市総合教育会議

1. 日時 令和5年10月30日(月) 開会15時00分～閉会16時00分
(所要1時間)
2. 場所 坂出市教育会館2階 大会議室
3. 議題
 - (1) 教育大綱の改訂について
 - (2) その他
4. 出席者
市長 有福 哲二 教育長 山田 知志 教育委員 漆原 恵子
教育委員 山地 誠治 教育委員 林 陽子 教育委員 川中 祥照
5. 欠席者 なし
6. 出席した職員
政策部長 林 尚志 政策課長 大野 栄嗣
教育部長 松川 忠司 学校教育課長 高木 亮一
教育総務課長 新保 和志 生涯学習課長 鎌田 誠司
文化振興課長 片山 美江 図書館長 百相 房江
こども課長 濱田 知佐
7. 傍聴者 なし

《会議の大要》

政策部長 ただいまから令和5年度第1回坂出市総合教育会議を開催する。最初に有福市長からご挨拶をお願いします。

市長 (市長挨拶)

政策部長 それでは議事進行をお願いします。運営要領第4条の規定に基づき、有福市長に議事進行をお願いします。

市長 本日の議題である「教育大綱の改訂」について事務局より説明を求める。

事務局 (資料の説明)

市長 ただいま事務局から「Ⅰ 基本理念」についての説明があった。何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員 基本理念の中に「新たな価値」という文言があるが、どういったことを意図しているのか。

また「確かな未来」とあるが、具体的にはどのようなものか。

事務局 「新たな価値」については人生を 100 年時代のなかで、生涯スポーツや文化的な活動を通じて、いかに幸せを感じとれるような生活を送っていくことができるかに重点をおいて考えていきたい。

また、「確かな未来」とは持続可能な社会への取り組みとして学校給食の残食を減らす取り組みなどの地道な活動を今後も行っていく。

教育委員 「新たな価値」と「確かな未来」とは、国が求めている「ウェルビーイング」と「持続可能な社会」という認識で捉えればよいか。

事務局 おっしゃる通りである。

教育委員 「Ⅰ 基本理念」が 3 段落で構成しているが、4 段落に変えられないか。現在の 1 段落目の内容を 2 つの段落に分けたほうがよいのではないか。

事務局 再考する。

市長 続いて、「Ⅳ 基本方針 1 生きる力を育む学校教育の推進」について、何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員 「(4) 特別支援教育の充実」について、支援体制は、特別支援学級として分ける教育体制とするのか、通級を中心としてインクルーシブな教育体制とするのか、今後どちらの方針で考えているか。

教育部長　世界的な流れとしてはインクルーシブな方向であるため、分けて教育を行う方向では考えていない。しかしながら、特別支援学級を失くすものではなく、対象者には個別に最適な対応を続けていく。

教育長　特別支援学級では、特性に応じた対応を行っている。支援学級以外の時間は通常学級で普通教育を行いインクルーシブな支援体制をとっている。義務教育の9年間は情報連携を行い「かけはしプログラム」で切れ目のない支援を行っている。

教育委員　「(3) 児童生徒の健全育成」の中で、「生徒指導の3機能」とあるが最近の生徒指導提要では、安心安全な風土の醸成が新たに追加されている。今回の案には含まれていないが、生徒指導提要との関連はどのように捉えたらよいか。

事務局　基礎にあるのは、問題行動等の未然防止である。指摘のあった追加項目は、大綱(案)の文言としては入れていないが、施策の中に反映させていく方針である。

教育委員　「(1) 確かな学力、豊かな心と健やかな体を育てる教育の推進」の中で、一貫教育とあるが、小中一貫校で連携するよりも離れた場所で連携をとりやすくしたほうがよいのではないか。

事務局　以前から小中の連携は強調してきたが、一貫校で同じ学校ならさらに連携を強化できると考えている。

教育委員　幼稚園も近くにあるため、幼小中の連携も可能なのではないか。また、連携には教員どうしの連携も重要と考える。どのようにお考えか。

事務局　「かけはしプログラム」として幼・小の連携となる取り組みも始めている。場所は大きく影響せず、教員同士の連携意識が重要である。

市長　続いて、「2 社会総がかりで取り組む教育の推進」について、何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員　「部活動の地域移行」には文化活動部も含まれているのか。

事務局　含んでいる。

市長 続いて、「3 人生 100 年時代を見据えた生涯学習・スポーツの推進、文化・芸術の振興」について、何かご意見があれば、ご発言をお願いします。

教育委員 全国的には図書館が増え、県内に成功例もある。文化施設を観光資源や憩いの場として捉えて欲しい。今後の展望はどのようにお考えか。

事務局 文部科学省の教育振興基本計画に基づきながら、自由な発想で自主事業に取り組んでいる。既存施設の利用や体験活動を通し魅力的な施策を今後展開していきたい。

市長 文化施設はどの施設も老朽化している。維持管理費の増加や魅力度の低下を自覚している。ただし、図書館の利用者は他の施設に比べ非常に多い。今後、駅前複合施設の開発に図書館も含めることで観光やにぎわいの核としていきたい。

教育委員 中央公民館や勤労福祉センターの機能維持もお願いしたい。

市長 生涯スポーツ、生涯学習、リカレント教育は取り組んでいく必要がある。中央公民館の機能をどのように維持し発展していくか。今後の対応を考えているところである。

教育委員 おうごしの里は地元が運営に積極的に参加している良い例である。教育の公民連携をどのようにお考えか。

市長 現在、教育委員会で公民連携が可能か否かを検討中である。民間事業者から、企画内容やリスク共有等について詳細な提案があってから議論していきたい。

坂出市総合教育会議運営要領第 6 条第 2 項に基づき、署名する。

坂出市長

教育長